

連日暑い日が続いていますが、皆様お変わりありませんか。今年の梅雨は宮崎では少雨傾向でしたが、いよいよこれから台風シーズンを迎えます。五ヶ瀬川水系の激特事業も着々と推移して安全対策が進んではいますが、本年こそ災害のない安心安全で過ごしたいものです。

さて、今回の議会便りは4月、5月の臨時議会、そして6月に開催された定例県議会のご報告をさせていただきます。

4月の臨時議会では、議長・副議長、常任・特別委員会等の委員を選任し、今年度の議会構成が決まりました。

5月臨時議会では、6月の期末手当（ボーナス）の一部凍結についての議案を審議いたしました。

6月定例議会では、経済・雇用緊急対策を盛り込んだ約182億円の追加補正案が上程されました。議会後半には、知事の国政転出騒動で大騒ぎになる展開となりました。しかし、最終的には出馬断念で、残された任期を全うすると知事は表明しています。ぷらーっと過ごすことなく、県政発展に全力を尽くしてもらわなければなりません。



「西南の役和田越決戦の地」に耐震偽装事件（通称姉歯事件）で名をはせた馬淵澄夫衆議院議員をご案内

私も宮崎県はもとより、県北の発展と山積する課題の解決に、英知を結集して取り組んでまいります。引き続き皆様の叱咤激励をよろしくお願いいたします。

今年度の委員会等の所属が決まりました

●厚生常任委員会 委員

福祉保健行政の推進、並びに県立病院事業を所管しており、保健、福祉、医療等について審査しています。県立延岡病院の医師確保に努めます。

●少子化・子育て支援対策特別委員会 副委員長

少子化対策及び子育て支援に関する調査を行うために設置された委員会です。

●議会運営委員会 委員

議会をスムーズに運営するために、議事日程などの議会の運営方法などについて協議します。

●開発事業特別資金審議会 委員

県開発事業特別資金を知事の諮問に応じ、資金の使用に関し重要な事項を審議します。

●政治倫理審査委員会 委員

政治家の倫理を審査する県議会に置かれる委員会組織

●民主党県議団 幹事長

3人(権藤梅義会長・井上紀代子政審会長)の会派ですが、しっかりと存在感のある活動をしてまいります。

臨時議会のご報告

4月(4月15~17日)

確約書問題や議長選に関する贈答品事件など、県議会の信頼を大きく損なう事件があり、県議会史上初めての政治倫理審査委員会が開催されました。途中議会が空転するなど混乱し、終了したのは日付の変わった深夜となりました。新議長・副議長ならびに各議員の委員会所属等が決まりました。失墜した議会の信頼回復のために議員各位が、今後、政治倫理の向上に努めることは当然として、県政の課題に真摯に取り組むことが求められます。

5月(5月26日)

- 職員や特別職（知事、副知事・県議会議員等）の6月の期末手当（ボーナス）の一部を凍結する条例を可決しました。県だけで約13億円の減額に。
- 「北朝鮮が核実験を実施したことに抗議し、核開発の即時中止を求める決議」を可決しました。

6月定例議会のご報告

知事より19件の議案が提案されました。国の今年度の大型の補正予算成立による経済・雇用対策の実施に伴う182億5796万円の追加補正が行われ、その結果、一般会計の総額は5831億9524万円になりました。県立3病院の高度・救急医療や周産期医療体制を充実させるため、約6億円で血管造影装置等の医療器械の更新・新規購入を行います。また、自殺予防の人材育成や啓発の拡充に約3400万円、新型インフルエンザの対策として追加備蓄に約1億6800万円が予算化されました。

しかし、緊急経済雇用対策として国が打ち出した補正予算でしたが、6月補正としては異例の巨額であったため、とりあえず基金（いわば貯金）を新設、あるいは積み増しの措置が多くとられました。緊急雇用経済対策として、すぐに効果が出るのかは疑問で、総選挙前の政府のバラマキといっても過言ではありません。

また、国政転出の準備ではと物議をかもした知事の退職手当（1期4年で4000万円超）を50%減額する条例も可決いたしました。（ちなみに議員は国県市町村議員ともに1円もありません）。なお土木事務所（串間・高鍋・高岡）の再編に関する条例は、行革を否定するものではなく、住民サービスの低下や地域間格差が生じる懸念があると否決し、残る18件を可決、8件の意見書を可決、4件の請願を採択いたしました。

知事の国政転出騒動について

知事に衆院選出馬要請

知事出馬を断念
国政未練たらたら



知事出馬へ意欲

(宮崎日日新聞の見出し)

「宮崎のために国政に行く」「この国の統治システムを変えなければ地方の再生はあり得ない」東国原知事が自民党から出馬するかどうかを巡って、県民を振り回した末、最終的には断念しました。

しかし、全国には東京の石原知事をはじめ神奈川県、埼玉県、千葉県知事等々、また政令指定都市の市長など逆に国会議員から知事や市長になった方もたくさんいます。知事の政治の師匠でもある早稲田大学の北村正恭教授も国会議員から三重県知事を2期勤めました。これを知事はどう説明するのでしょうか。

28日の県議会全員協議会で、東国原知事のブログ「そのまんま日配」も批判の的となった。県議から「県の最高権力者が書く内容としては問題がある。個人攻撃が多すぎる」と詰め寄られ、知事は「不適切という指摘があれば謙虚に受け止めて、内容を精査して、内容を精査して、内容を精査して」と反答の色を見せた。

田口雄二議員(民主)が「知事はマスコミをヘンの攻撃と言いが、知事はブログで攻撃している」と批判。18日付のブログで「この記者のインテリジェンスは、やめてください」と書いていたことが、この記者のインテリジェンスを露呈している。

知事は7日の定例会見で全国紙女性記者の取材方法を「ストーリーカー」を批判している。

知事は「個人攻撃多すぎる」知事ブログもやり玉に

知事はブログでは公式発言を避け、言いたいことを一部発言に感嘆を吐露している」と説明する一方、批判の矛先をメディアに向けた場面も。「特に新聞、雑誌は誤解を招くような表現方法が多々あるので、『真実はどうだ』『私はどう思う』『どう』と書くべきではない」と述べた。

知事は7日の定例会見で全国紙女性記者の取材方法を「ストーリーカー」を批判している。

宮崎日日新聞(7月24日)

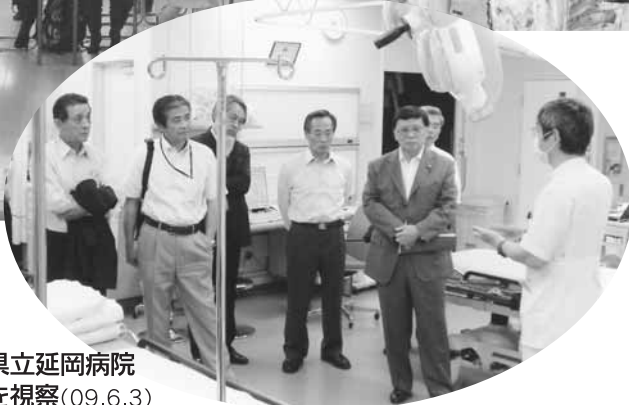
分権 国政への口実
前鳥取県知事で慶応大教授(地方自治論)の片山善博さん「出馬の理由がよく理解できなかったし、具体的に何をやろうとして知事の限界を感じたのかが分からない。宮崎から逃げ、国政に出る口実に地方分権を使ったとしか思えない。自分は知事の限界を感じたことはほとんどなかった。本気でやれば、かなりの部分は克服できる」

評価の高い片山元鳥取県知事のコメント(読売新聞より)

厚生常任委員会視察



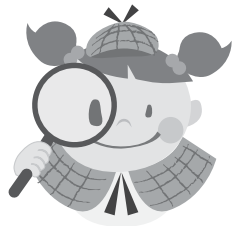
延岡こども発達支援センター「さくら園」を視察(09.6.3)



県立延岡病院を視察(09.6.3)



「ミヤチク」を視察(都城市)多くの宮崎牛に囲まれて(09.5.20)



活動フォト



馬淵澄夫代議士に延岡市議の皆さんと高速道の早期完成のため状況報告(09.4.11)



延岡より多くの若者が初めての議会傍聴に(09.6.23)

護衛艦 「ひゅうが」 見学 (7月27日)

本年3月に就役し、横須賀基地以外ではじめて細島港に入港いたしました。本県の旧国名に由来しており、知事・議長・防衛議員連盟の正副会長等が艦内をご案内いただきました。海上自衛隊最大で基準排水量1万3950t、長さ197m、幅33m、定員380名です。

艦上記念撮影



海上自衛隊名物「海軍カレー」
をいただきました。



海将補より
説明を受ける



**県政
相談**

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

TEL/FAX : 0982-26-1945 携帯 : 090-5021-7729
田口雄二 住所 : 延岡市夏田町445-1
e-mail: gucci-yu@ma.wainet.ne.jp